

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37164	
事業名	札幌ドーム保全費						
評価担当課	所 属	ス)スポーツ部 施設課			電話番号	011-211-3045	
施策名	「高次機能交流拠点」では、国際的・広域的な観点を持った産業や						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	大和ハウスプレミストドームは通年型の大規模イベント施設として平成13年(2001年)に開業して以来、サッカーW杯をはじめ様々な国際大会などが開催されてきたが、大規模な設備改修が行われていなかったため、平成26年度から事業費を予算化し、耐用年数等に基づき作成された保全計画による改修を(株)札幌ドームと連携して進めている。今年度は開業から23年経過し、各設備の耐用年数を迎えてくる中、ホヴァリングステージが故障停止するなど営業活動に支障が生じる事例も過去に発生している。					
	事業内容(何を実施し)	札幌ドームにおける保全改修の実施 ①各設備の耐用年数等に基づき作成された保全計画による改修を基本として事業を実施していく。 ②設備の劣化状況等により改修時期の組み換え等、保全計画の見直しを行いながら事業費の平準化を図っていく。 ＜R5実施＞ (改修工事) ▽一般照明改修工事▽自動火災報知設備改修工事 (保全業務) ▽可動設備保全業務▽ホヴァリングステージ用駆動車輪装置▽弱电設備保全業務▽ホヴァリングステージロードヒーティング保全業務▽大型映像装置保全業務▽厨房機器更新 ほか					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	今後の継続的なイベント誘致・開催のためには計画的な保全事業の実施が必要不可欠であり、安定した施設の稼働や施設利用率の向上、利用者の安全確保や利用満足度向上が期待できる。					
	他都市の状況						
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
	令和4年度決算額	657,307 千円	うち特定財源	249,307 千円	正規職員業務量	0.8 人工	
令和5年度予算額	916,000 千円	うち特定財源	916,000 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和5年度決算額	751,967 千円	うち特定財源	722,000 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度予算額	979,000 千円	うち特定財源	979,000 千円	正規職員業務量	0 人工		
指標	アウトプット活動指標1	保全事業の実施率(H26-H35)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		84%	100%	100%	39%	60%	80%
	↓						
	アウトカム成果指標1	故障等による施設の休館(イベントの中止)日数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0日	0日	0日	0日	0日	0日
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	各設備の耐用年数及び劣化状況等により、保全計画の見直しを行いながら事業の平準化を図り、事業を適切に実施できた。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	故障等の要因による札幌ドームの休館及びイベント開催の中止は、発生しておらず、成果指標「故障等による施設の休館(イベントの中止)日数:0日」を達成することができた。						
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	効率的かつ予防的な維持修繕計画の策定や、将来的な長寿命化の方向性と維持更新計画の策定について、国や他都市の事例、専門家の知見などを参考に、検討を進めていく必要がある。						